



発行/  
大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号  
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121  
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp URL http://oskougai.com/

発行責任者 金谷 邦夫 毎月10日発行 個人会員 月250円

すかしゆり 画・加納忠



(永井茂治氏)、同2期工事(廣瀬平四郎氏)、行政を変質させる2040年構想問題(竹中道子氏)、大気汚染公害の未認定被害者救済(上田敏幸氏)、原発ゼロの会の自然エネルギー推進運動(中村毅氏)など、各分野での活動報告が行われました。

討論のまとめを久志本事務局長が行い、総会方針案・決算・予算を拍手で確認し、金谷会長以下40名の新役員を選出しました。

閉会あいさつで、藤永副会長は「環境問題に関心もった方々に会員拡大を訴えてほしい。カネミ油症の孫ちゃん被害にはショック。化学物質の遺伝毒性についてもっと注目しましょう。裁判闘争では、傍聴者の数が大事、みんな大変やけど頑張って参加しよう」とまとめました。

6月13日(木)夜、大阪市内で「大阪から公害をなくす会第40回総会」に23団体31名の参加で開催されました。

議長に高本副会長が選ばれ、金谷会長は開会あいさつで「公害運動の原点は被害者が救済されることが重要です。この数年の裁判で、原発賠償でも建設アスベストでも原告が何回も勝った判決がでていますが、被害者・被災者が救済されない。私たちの運動は今後も被害者を救済するために、行動し発信し続けていく必要があります」と訴えました。

祝電・メッセージの紹介の後、久志本事務局長から公害・環境情勢と課題、公害環境デーや環境学校、NO<sub>2</sub>カプセル自主測定などの報告と方針、ソラダス2020や2年後に創立50周年を迎える記念行事などの方針が提案されました。中森次長からは、厳しい中でも運動を前進させた決算報告と監査報告の紹介、来年度の予算提案が行われました。

討論では、関西建設アスベスト訴訟(村松昭夫弁護士)、寝屋川廃プラ(北田嘉信氏)、淀川左岸線延伸部の大深度トンネル計画

